

令和6年6月24日～6月30日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和6年度第9報)

環境省大臣官房環境保健部企画課 熱中症対策室

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について(注1)

6月24日～6月30日の全国11都市(注2)の平均値を過去5年間(2019～2023年)の平均値と比較すると、6月24、29日は1程度高く、27日は2近く低くなりました。

総務省消防庁の発表によると、11都道府県(注2)における熱中症による救急搬送人員(注3)の合計は、910人でした(図1)。

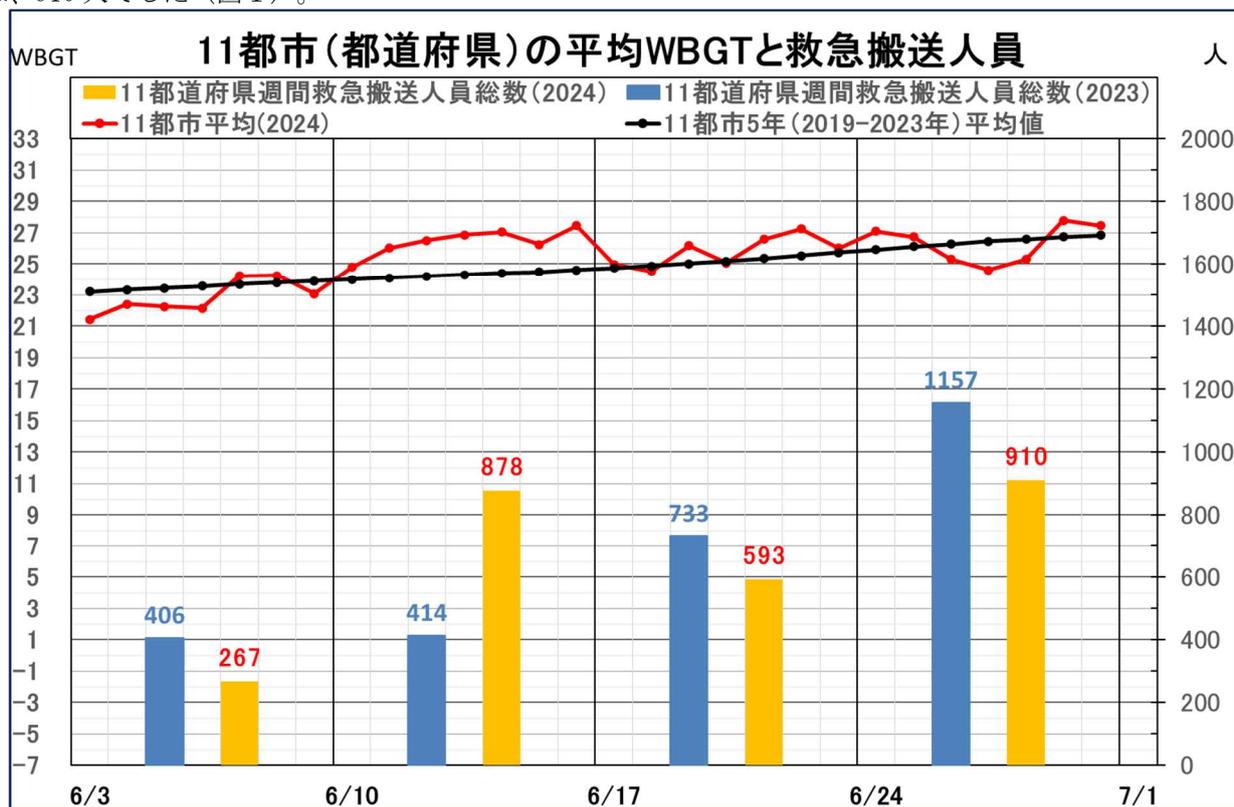


図1 全国11都市の平均日最高暑さ指数(WBGT)状況と救急搬送人員(11都道府県)の動向

全国11都市では、名古屋、大阪、高知、福岡、鹿児島で「嚴重警戒」を示す28以上になる日があり、さらに、東京、那覇では「危険」を示す31以上になる日もありました(表1参照)。

表1 全国11都市の日最高暑さ指数(WBGT)(6月24日～6月30日)

日	札幌	仙台	東京	新潟	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
24	21	27	33	27	28	27	26	25	26	28	31
25	23	26	30	25	27	26	25	28	26	28	31
26	17	23	30	25	25	26	24	27	24	26	32
27	22	23	28	24	25	23	22	24	24	26	30
28	26	24	23	23	25	24	24	27	26	25	31
29	26	27	28	27	30	28	27	29	27	26	32
30	25	26	29	24	27	29	25	28	28	30	31

嚴重警戒	危険(注4)	熱中症警戒アラート	熱中症特別警戒アラート
28以上31未満	31以上	33以上	35以上

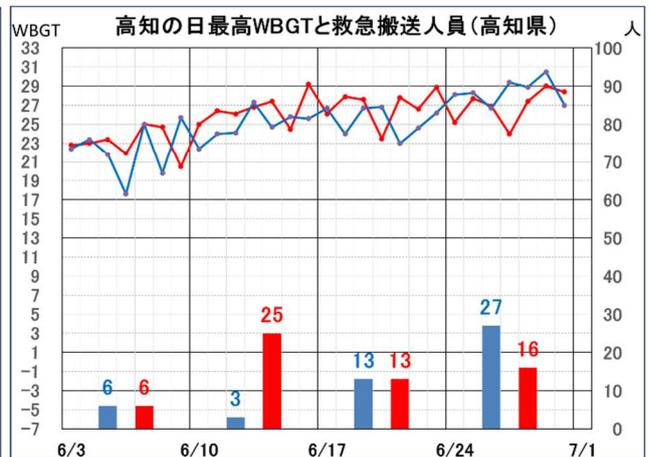
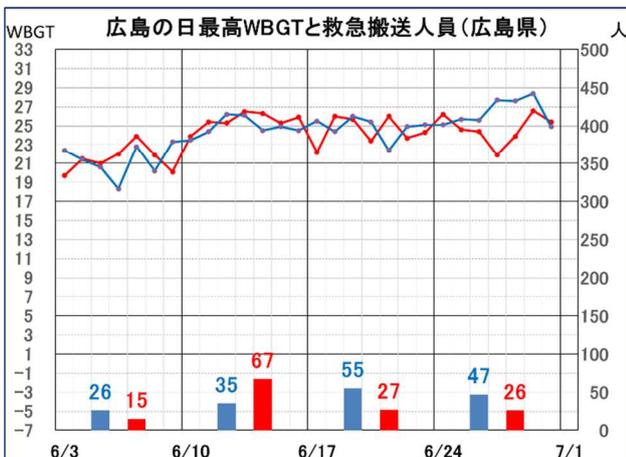
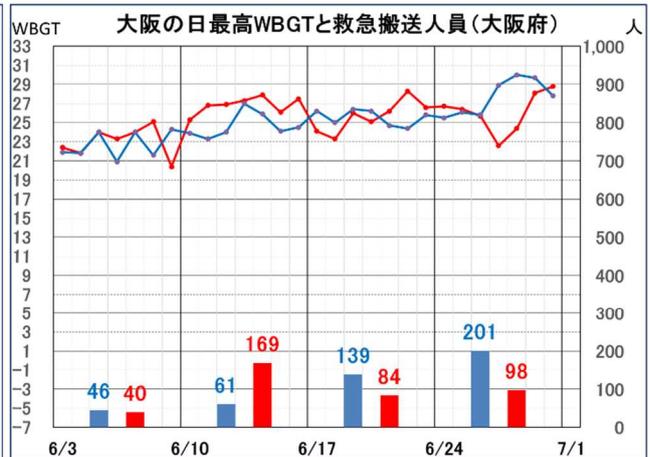
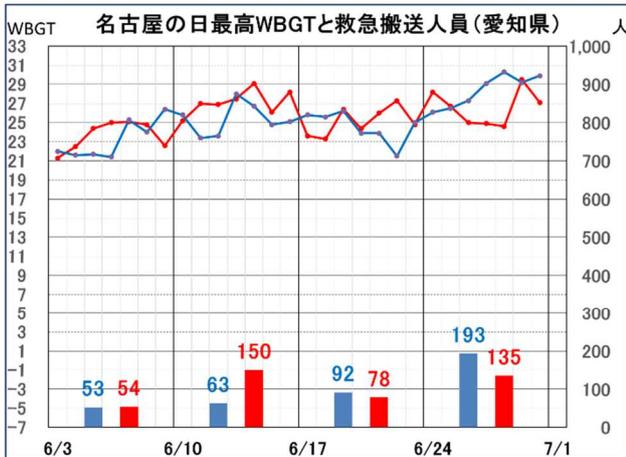
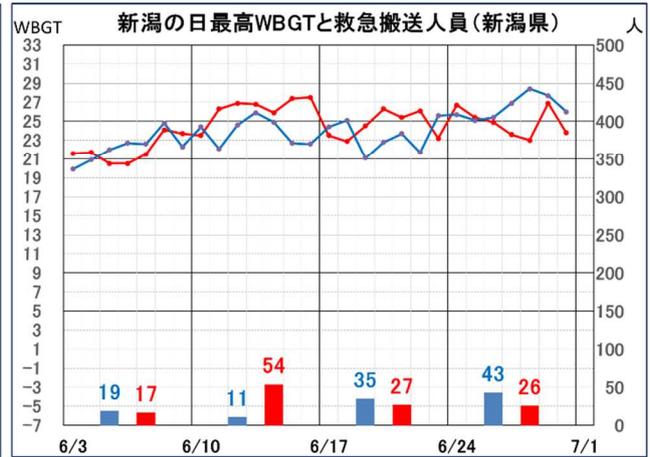
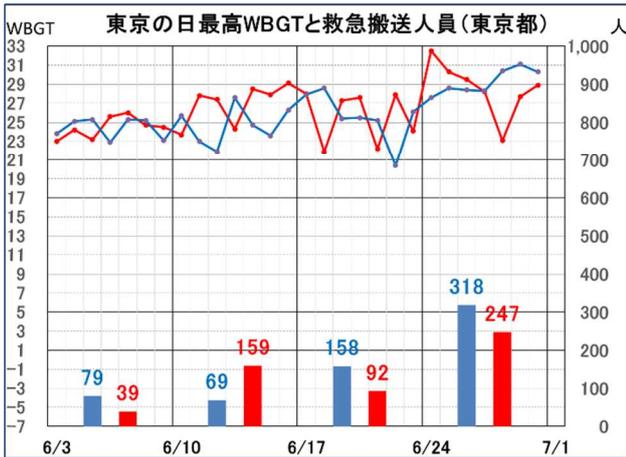
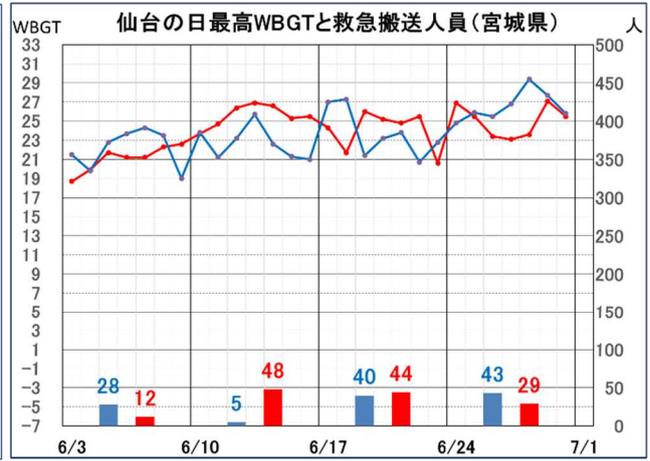
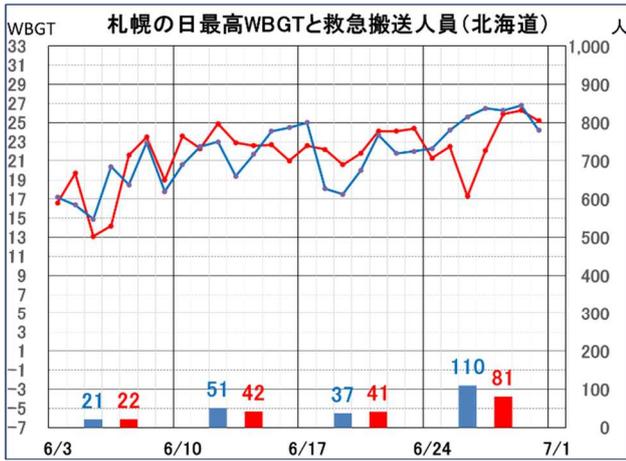
注1 本資料の暑さ指数(WBGT値)は速報値です。確定値とは異なる場合があります。

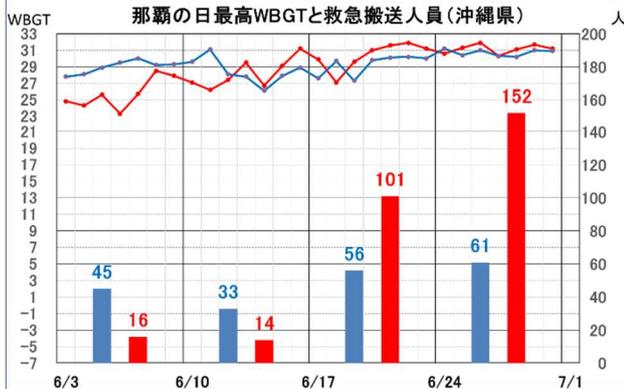
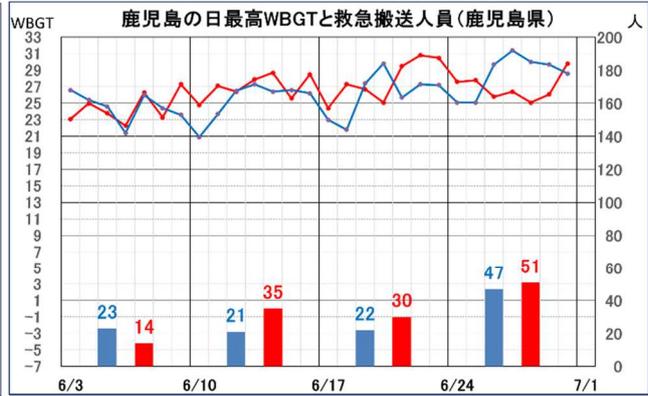
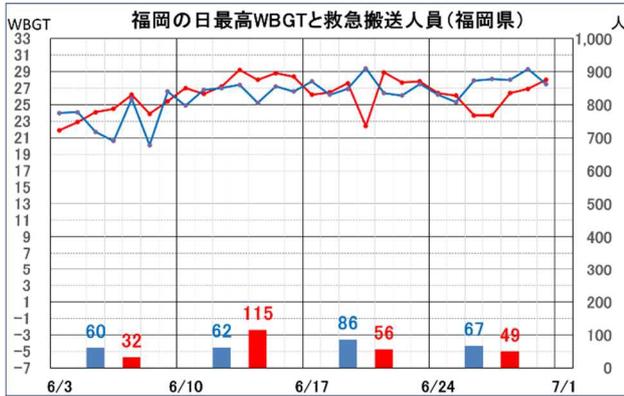
注2 本資料における全国11都市:札幌市、仙台市、東京・文京区、新潟市、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 総務省消防庁の発表資料を元に環境省で作成: <https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html>

注4 日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.4」では、暑さ指数31以上を「危険」としています。

2. 全国 11 都市の日最高暑さ指数 (WBGT) と熱中症による救急搬送人員の状況





凡例

- 11 都市の
日最高 WBGT(折れ線)
青線:2023 年データ
赤線:2024 年データ
- 11 都道府県の
週間救急搬送人員(縦棒)
青棒:2023 年データ
赤棒:2024 年データ

3. 全国の熱中症警戒アラート等の発表状況

直近4週間(6月3日~6月30日)の、全国(58の府県予報区等)における熱中症警戒アラートの延べ発表回数は以下のとおりです(表2)。なお、この期間において、熱中症特別警戒アラートの発表はありませんでした。

表2 全国の熱中症警戒アラートの発表状況(6月3日~6月30日)

	6/3~6/9	6/10~6/16	6/17~6/23	6/24~6/30
全国	0	4	12	27
(参考) 昨年	0 (2023/6/5~6/11)	0 (2023/6/12~6/18)	4 (2023/6/19~6/25)	2 (2023/6/26~7/2)

4. 今後の見通し

気象庁の2週間気温予報の概要は以下となっています。

(7月3日発表、予報期間7月4日~7月17日)

北海道日本海側・太平洋側と東北地方	向こう2週間の気温は、暖かい空気が流れ込みやすいため、かなり高い日が多い。
北海道オホーツク海側と東・西日本	向こう2週間の気温は、暖かい空気に覆われやすいため平年並か高く、8日頃まではかなり高い所もある。
沖縄・奄美地方	向こう2週間の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、かなり高い。

(参照: 2週間気温予報 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/twoweek/?fuk=1>)